

P・I・A シート

～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 実践事例～
小学校 社会編 ① 概要

校種・学年	小学校・6学年	教科等	社会
単元名	江戸幕府と政治の安定		
単元の目標	我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、文化財や地図、年表などの資料で調べ、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、表現することを通して、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。		
本時のねらい	・幕府が大名支配のために行った政策が、大名にどのような影響を与えたのか考え表現する。		
本時の評価規準	【思考・判断・表現】 幕府が大名支配のために行った政策が、大名にどのような影響を与えたのか考え、表現している。〈発言、ノートより〉		

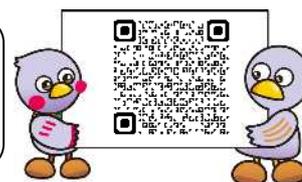
事例の概要(見どころ)

本時は、江戸幕府が行った様々な国内政策や対外的な政策について学んでいく全6時間単元のうちの3時間目である。

教師は、児童が提示される資料からの読み取りだけでなく、相互に意見交換して自分の考えを精選し確立してほしいと考えていた。そのために、①歴史的事象を読み取るだけにならないように資料を精選して提示する、②資料の読み取りで得た各自の知識を、グループ内で相互に質問等をし合いながら意見を比較するなど関連付けて、主体的・対話的で深い学びにつなげていく、③ICTを積極的に活用し、「Google classroom」を用いて課題を配信したり、「Jamboard」や思考ツール（Yチャート等）を利用したりして、グループやクラスで考えを共有したうえで、改めて自分の言葉で本時のまとめをさせるよう計画した。

本時では、「様々な資料から各自が課題となる要因を読み取り、まとめる」→「全体で共有して考え、そのうえで改めて課題に対するまとめを各自の言葉で記す」過程について紹介する。

発行：令和5年3月
埼玉県教育局南部教育事務所
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/g2201/index.html>



その他のP・I・Aシートはこちら ↑

P・I・A シート

～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 実践事例～ 小学校 社会編 ② 指導展開

- 目標 幕府が大名支配のために行った政策が、大名にどのような影響を与えたのか考え、表現することができる。
- 準備 ワークシート、振り返り記録表、ノート、タブレット端末、大型モニタ
- 展開 (3/6)

学習活動・学習内容	・指導の留意点 評価 (方法)	資料等
<p>1 歴史上の人物クイズをする。</p> <p>2 学習計画を確認する。</p> <p>3 幕府の大名配置について考える。</p> <p>めあてについて、歴史的事象の特徴を他の事象等と比較・分類したり、総合したりすることで、問いを見出して、学習のめあてにしています。</p> <p>めあて 幕府は、どのようにして多くの大名を従えていったのだろうか。</p>	<p>・単元を通して、学習問題を解決するために学習を進めることを意識させる。</p> <p>・めあてについて予想させる。</p> <p>前時までの学習を基にして、学習内容を全員で意識させるために、改めて取り上げて確認をしています。</p>	<p>・学習計画</p> <p>【授業改善の視点】 「どのようにして多くの大名を従えていったのか」について、解決に向けて様々な資料を活用して、相互に関連させることで、他の事象とのつながりを考え、より多角的に考えることができるようになります。</p>
<p>4 加賀藩の大名行列図について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行列が長い ・たくさんの人がいる ・将軍がいる ・かごがある <p>5 参勤交代や幕府が命じた工事について調べる。</p> <p>【参勤交代について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸の屋敷と自分の領地を一年おきに行き来していた。 ・大名の子や妻は江戸の屋敷に住まわせていた。 ・江戸までの日数が長くかかった。 ・多くの費用がかかった。 ・藩の財政を圧迫していた。 ・五街道を通っていた。 ・江戸までの間に宿場町があった。 <p>【幕府が命じた工事について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薩摩藩の領地ではないのに木曾三川の工事をした。 	<p>・「classroom」から課題を配信し、気付いたことをペンで書き込み、全体で共有する。</p>  <p>各自が資料を選び、読み取って考える(=調べる)ための時間を十分に確保して、意見を共有しやすくしています。</p> <p>・「Jamboard」で思考ツール (Yチャート) を使用して、教科書や資料集などで調べさせる。</p> <p>・一人で調べた後、グループで共有し、その後、全体で確認する。</p> 	<p>・大名行列の図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参勤交代にかかった日数 ・江戸時代の大名屋敷 ・五街道現代に残る宿場町 ・薩摩藩と木曾三川の治水 <p>【授業改善の視点】 資料を比較できる時間を十分に確保することはとても大切です。各自で考えた疑問を文字で残しておく、後の交流の時間に相互に比較できるようになります。</p>

- ・工事には多くの費用と日数がかかった。
- ・多くの藩士が工事にかかわった。
- ・参勤交代以外にも、大名に負担がかかった。

- ・それぞれの資料から読み取れることを考えさせる。

【授業改善の視点】

評価における「～考え、表現している。」について、思考している姿を評価するためには、「考え」と「根拠」がどのように結びついているか、発言やノート記述を見て、「思・判・表」の評価に生かします。

【授業改善の視点】

資料を調べて理解したことや、それに対する自分の考えなどを、論理的に説明するために、根拠や理由を明確にして表現できるように促していくことが大切です。

- 6 なぜ、幕府が参勤交代や工事を命じたのか、グループで話し合い、全体で共有する。

- ・調べたことをもとに、幕府が命じた理由を考えさせる。



指導と評価の一体化を図るために、「B 規準に達しない→B 規準への支援」として支援の手だてを明示しています。さらに、BからAへの引き上げるための支援も明示しています。

- 7 幕府の大名支配について考える。
- ・江戸から離れた場所にいる大名も江戸に來させ、幕府に服従させる力があつた。
 - ・大名に費用をかけさせ、幕府に逆らう力を与えないようにした。
 - ・大名に参勤交代や土木工事を命じることができるほど幕府の力は大きく、全国に支配がおよんでいた。

- ・全体で確認したことを踏まえて、Yチャートにまとめて幕府の大名支配について考えさせる。

評幕府が大名支配のために行った政策が、大名にどのような影響を与えたのか考え、表現している。【思・判・表①】(発言、ノート)
B 規準に達しない→B 規準への支援
幕府が行ってきたことに着目して考えるよう助言する。
B 規準→A 規準への支援
様々な視点から、幕府が与えた大名への負担について、どのような影響があったのか考えるよう、助言する。

「社会的事象の見方・考え方」を働かせ、調べ考え表現する授業を実現するために、学習問題に対する答えを持ち、学んだ事象との相互関係を整理する時間を確実に確保しています。

【授業改善の視点】

本時の評価は、指導に生かす場面の要素が強いが、単元の始めと終わりでは児童の考えが変容することが多い。どのように変化したのかを見取り、評価に生かすために、【思考・判断・表現】場面では児童の考えを記述させて、どのような変容があったのかをしっかりと見取ることが大切です。

- 8 調べてきたことをもとにして、幕府の大名支配について、自分の考えをまとめる。

- 本時のキーワードに着目させ、自分の言葉でまとめを書かせる。

本時のめあて(課題)とまとめが、正対しています。

幕府は、参勤交代の制度を定めて、全国の大名を交代で江戸の屋敷に住ませた。そして、制度を作ったり、工事などを命じたりしながら、大名に負担を与え、大名を従えていった。

- 9 本時の学習を振り返る。

- 授業を通しての振り返りをさせる。

児童に、わかったことや考えたこと、やっていた疑問に思ったことなどを振り返らせて、次時への見通しをしっかりと持たせています。

- 10 次時の予告をする。

- 江戸時代の人々の暮らしについて調べることを伝え、学習意欲を高める。